

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	総合的栄養評価が栄養状態に及ぼす影響		
2. 対象患者	以下の期間中において特別な栄養管理が必要な入院患者さん、入院及び外来の栄養食事指導依頼の患者さん、栄養サポートチーム(NST)介入依頼の患者さん800名		
3. 対象となる期間	2019年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日		
4. 実施診療科等	栄養管理部		
5. 研究責任者	氏名	三上恵理	所属 栄養管理部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任)	なし		
7. 研究の意義	近年、栄養介入の効果が報告されるようになり、適切な栄養管理をおこなうことで、病気の治癒・回復の促進や、手術などの合併症の予防が可能であることが知られてきました。さらに、医療行為によって病気が治っても、栄養状態が悪ければ、身体機能の低下をきたし、元の生活に戻ることが難しいことを経験しています。そこで、当院における総合的栄養評価の裏づけをおこない、栄養療法や栄養管理を質の高いものとする事で、治療効果の向上や治療の可能性の拡大、生活の質の向上や予後の向上に繋がるものと考えます。		
8. 研究の目的	管理栄養士が患者さんに総合的栄養評価として、食事調査、身体計測、体組成測定、窒素バランス測定、握力測定、間接熱量測定、栄養指標のモニタリング等を実施し、栄養状態にどのような影響を及ぼすかを裏づけし、栄養療法や栄養管理の質を高めます。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録に記載されている、性別、年齢、身長、体重、血液生化学検査、尿検査、代謝測定、体組成測定、握力測定、窒素出納、画像所見、治療関連情報、治療経過、食事摂取量、食生活診断、食事調査表などの情報を基に、栄養指標を測定・算出したものを総合的栄養評価とし、栄養状態とあわせて統計学的な解析をします。この研究に必要な臨床情報は診療録より取り出しますので、改めて患者さんにおこなっていただくことはありません。		
10. 個人情報の保護	本研究におきまして、個人が特定される情報を収集することはありません。研究の結果は、学会などで報告しますが、個人を特定される情報を公開することはありません。本研究への情報利用を拒否された場合は、データは削除します。ただし、学会や論文で研究結果を発表した後は、データの修正はできませんので、ご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反はありません。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 栄養管理部 三上恵理		
	電話	0172-39-5220	FAX 0172-39-5225